

## にぎわいの創出

イベントでにぎわう市民交流プラザ前



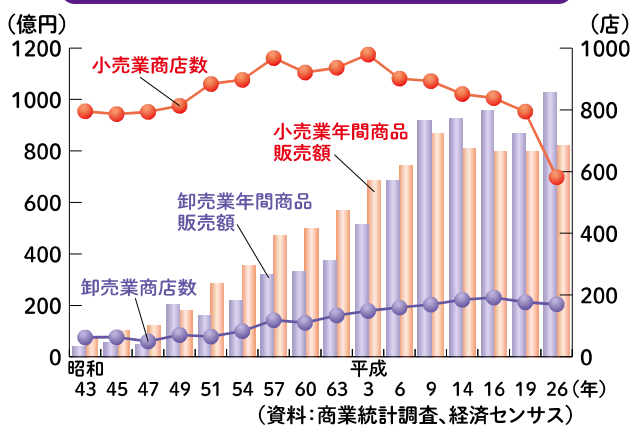
大村市の中心市街地は、古くは江戸時代から城下町や長崎街道の宿場町としてにぎわい、これまで商業集積が進み地域の拠点として発展してきました。しかし近年、郊外型商業施設の進出や消費者ニーズの多様化などにより、中心市街地の空洞化が進みつつありました。

この状況を打開するため、JR大村駅前の中心市街地で、「上駅通り地区第一種市街地再開発事業」に取り組み、平成24年に分譲マンションが完成。また、隣接する商業施設「コレモおおむら」がオープンし、さらに翌年には賃貸マンションが完成しました。また、平成26年に、多様な世代の交流拠点として「大村市民交流プラザ」がオープンしました。

これらの事業により、中心市街地の居住人口が増加するとともに、親子連れを中心とした新たな人の流れが創出されました。

今後、「長崎県立・大村市立二体型図書館及び大村市歴史資料館」（仮称）や「中心市街地複合ビル」を整備するなど、さらなるにぎわいの創出を目指します。

商店数と年間商品販売額の推移



コレモおおむら